

地域特性を活かした産業振興対策および暮らしの安全確保対策を中心に実施します。

雇用対策推進事業の継続については、日銀秋田支店2月県内経済概況発表では「緩やかに回復している」とされていますが、4月の消費税率の引き上げ反動に伴う景気の落ち込みが危惧されており、企業の経済環境の改善のため、商工会や金融機関などと連携を強め、雇用や設備投資等で実績のある地域雇用創出推進事業や、町内消費の維持拡大を図る地域振興商品券発行助成事業、マル三と小口融資の中小企業融資資金利子補給制度などを継続し実施します。

地域特性を活かした産業振興対策については、観光ビジョン・アクションプランにより「三種町にヒトとカネを移動し、賑わいを創出する」を目的に、情報発信の拡充を進め、周辺市町や観光協会と連携し広域的に事業を進めます。

また、新年度には国民文化祭とアフター・デスティネーションキャンペーンが開催されます。特に国民文化祭では、キルトフェスティバルと地歌舞伎の祭典が町内で開催されますので、町を訪れる観光客の増加が見込まれます。観光協会と連携し、サポート事業や観光客受け入れ勉強会などを実施します。

じゅんさい振興事業では、三種町森岳じゅんさいの里活性化協議会が活動の中心となり、農林水産省の食のモデル地域育成事業を活用し、JGAPじゅんさいの生産と営業活動を中心に実施して、生産者等の収入のアップを図ります。

体験観光のグリーン・ツーリズム事業は、観光の中心となる事業と位置付けています。実施主体の三種町グリーン・ツーリズム推進協議会と連携し、新年度事業計画「田舎ぐらし大学」事業を支援します。

スポーツ・ツーリズム事業の推進については、三種町スポーツ・文化合宿等誘致推進事業において着実に成果と実績を上げています。新年度は新たに連泊する合宿チームの宿泊費の負担軽減を図り、宿泊施設等と連携し交流人口の拡大を進めます。

暮らしの安心確保対策につきましては、地方消費者行政活性化基金を活用し、講演会を開催するとともに、啓発冊子の配布等による活動を行いながら、消費者被害の未然防止を図る取組を実施します。また、基金事業終了後においても消費者行政強化のための取組を推進します。

建設事業関係について

平成21年度から実施してきました「三種町住宅リフォーム助成事業」につきましては、町民の消費を促し、町内業者の振興を図るとともに、居住環境の向上を図るため、平成26年度も事業を継続します。

次に、交通環境整備につきましては、各自治会からの要望事項に対応した生活関連道路や側溝等の整備、更には傷んだ道路舗装の補修などを実施します。

なお、平成26年度は町単独による事業のほか、国

庫補助事業である「社会資本整備総合交付金事業」および「秋田基本射撃場周辺道路改修事業」を活用します。

まず、「社会資本整備総合交付金事業」では、道路ストックの点検として、幹線道路の路面性状調査と町内の道路標識の点検調査を実施するほか、平成25年度において実施した路面性状調査の結果を基に、志戸橋外岡線舗装補修工事の実施設計を行います。また、冬期間の安全通行のため、富岡大曲4号線の国道7号交差点付近への防雪柵を設置するための実施設計を行うとともに、平成25年度に引き続き除雪機械を1台更新します。

次に、「秋田基本射撃場周辺道路改修事業」では、じゅんさいの館から石倉山を經由して中野までに至る路線の舗装補修工事の実施設計を行います。これらの補助事業で設計した工事につきましては、次年度以降に年次計画を立てて進めます。

また、町営住宅事業につきましては、平成25年度で公営住宅長寿命化計画の策定が完了することから、それに基づいて円滑な更新や計画的な修繕を行い、町営住宅の長寿命化を推進します。

上下水道・温泉事業について

簡易水道事業および水道事業につきましては、施設設備の老朽化に対応し、交換等を実施しながら、安定した水道水の供給に努めます。

生活排水処理対策事業につきましては、公共下水道・農業集落排水への加入促進と合併処理浄化槽の設置促進を行い、水質保全と生活環境の向上に努めます。

温泉事業につきましては、施設設備の老朽化や料金収入の逦減に対応するため、設備改修を図りながら、安定した供給と経営に努めます。

琴丘総合支所関係について

はじめに、旧琴丘公民館跡地等利活用についてですが、昨年12月17日に利活用検討委員会から提出された報告につきまして、早期に庁内プロジェクトチームを立ち上げ、将来の方向性について検討したいと考えています。

次に、みたね鯉川地区交流センター運営委員会および旧上岩川小学校校舎利活用協議会については、地域住民交流を深めるために日々活動しておられることに対し、心から敬意と感謝を申し上げます。今後とも施設の維持管理を含めさまざまな形で支援したいと考えています。

なお、橋本五郎文庫が昨年実施した「母への手紙」入賞作品を製本するための助成を考えていますが、現在「宝くじ助成事業」にも補助申請していることから、採択された場合には、財源内訳を変更し事業を進めます。

JR鹿渡駅駐輪場整備については老朽化が著しい鹿渡駅駐輪場の三分の二を解体し、残る駐輪場を改修塗装し、駅前環境整備を図ります。